

事例番号:340002

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第五部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

2) 今回の妊娠経過

妊娠 37 週 2 日 胎児心拍数陣痛図上、胎児心拍は正常脈、基線細変動中等度、
一過性徐脈なし、一過性頻脈あり

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 38 週 2 日

9:38 頃 当該分娩機関受診、2 日前より胎動減少あり

9:39- 胎児心拍数陣痛図上、基線細変動減少および消失を認める

10:30 胎児心拍管理目的のため入院

4) 分娩経過

妊娠 38 週 2 日

11:03- 胎児心拍数陣痛図上、遷延一過性徐脈を認める

11:07- 胎児心拍数陣痛図上、サイクリックパターンの波形を認める

11:40 胎児機能不全の診断で帝王切開により児娩出

胎児付属物所見 臍帯巻絡(頸部 2 回)、臍帯細く虚脱あり

分娩当日 血液検査で AFP 6349.0ng/mL、胎児ヘモグロビン 8.2%

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:38 週 2 日

(2) 出生時体重:2600g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.21、BE -8.6mmol/L

(4) アプガースコア:生後 1 分 0 点、生後 5 分 0 点

(5) 新生児蘇生：人工呼吸（チューブ・バッグ）、胸骨圧迫、気管挿管、アドレナリン注射液の投与

(6) 診断等：

出生当日 生後 10 分の静脈血ガス分析値で pH 6.5、CO₂ 142.9mmHg、HCO₃⁻ 12.0mmol/L、BE -24.4mmol/L、生後 37 分に心拍確認
血液検査でヘモグロビン 5.9g/dL、ヘマトクリット 22.2%

(7) 頭部画像所見：

生後 10 日 頭部 CT で脳浮腫を認める

生後 5 ヶ月 頭部 MRI で多嚢胞性脳軟化症を認める

6) 診療体制等に関する情報

(1) 施設区分：病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師：産科医 2 名、小児科医 2 名

看護スタッフ：助産師 3 名、看護師 1 名

2. 脳性麻痺発症の原因

(1) 脳性麻痺発症の原因は、胎児母体間輸血症候群による胎児の重症貧血と、これに臍帯血流障害が加わったことによる胎児の脳の低酸素・虚血、およびその後に新生児に生じた循環不全の両者により、低酸素性虚血性脳症を発症したことであると考ええる。

(2) 胎児母体間輸血症候群の原因は不明である。

(3) 胎児母体間輸血症候群の発症時期は、妊娠 38 週 2 日の妊婦健診の数日前であると考ええる。

3. 臨床経過に関する医学的評価（2020 年 4 月改定の表現を使用）

1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

2) 分娩経過

(1) 妊娠 38 週 2 日、胎動減少を主訴とする妊産婦への対応（分娩監視装置装着、振動音響刺激実施）、基線細変動減少が認められ医師へ報告したこと、およ

- び胎児心拍を連続監視とし入院管理としたことは、いずれも一般的である。
- (2) 入院後の対応(分娩監視装置装着、バイタルサイン測定)および胎児機能不全の診断で帝王切開を決定したことは、いずれも一般的である。
 - (3) 帝王切開決定から約 33 分後に児を娩出したことは一般的である。
 - (4) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。
 - (5) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。
 - (6) 出生時の児の状態から胎児母体間輸血症候群を疑い、妊産婦の血液検査(AFP、胎児ヘモグロビン)を実施したことは一般的である。

3) 新生児経過

- (1) 出生後に胸骨圧迫、気管挿管、アドレナリン注射液の投与が行われているが、詳細な児の状態や行われた処置の正確な時刻の記載がないため、新生児蘇生については評価できない。またこれらの記載が診療録にないことは一般的ではない。
- (2) 高次医療機関 NICU へ搬送を依頼したことは一般的である。

4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

観察した事項および実施した処置等に関しては、診療録に正確に記載することが望まれる。

【解説】 緊急時で、速やかに診療録に記載できない場合であっても、対応が終了した際には新生児蘇生の内容、経時的な処置、経過について診療録に記載することが必要である。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

胎児母体間輸血症候群の発症について、その病態、原因、リスク因子の解明が望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。